

近畿厚生局長 殿

神戸大学医学部附属病院長
杉村 和



神戸大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	123 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

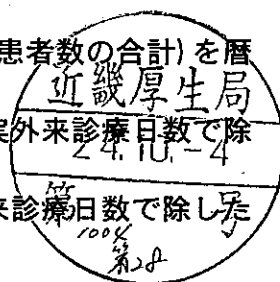
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	527 人	253 人	657.8 人	看護補助者	2 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	17 人	29 人	32.7 人	理学療法士	13 人	臨床検査技師	66.6 人
薬剤師	51 人	10 人	61.0 人	作業療法士	5 人	臨床衛生検査技師	1 人
保健師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	10.3 人	その他	0 人
助産師	36 人	0 人	36.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧	0 人
看護師	855 人	25 人	873.8 人	臨床工学技士	27 人	医療社会事業従事者	6.7 人
准看護師	0 人	0 人	0.0 人	栄養士	0 人	その他の技術員	29 人
歯科衛生士	3 人	3 人	6.0 人	歯科技工士	1 人	事務職員	211.5 人
管理栄養士	6 人	5 人	11.0 人	診療放射線技師	44 人	その他の職員	7 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	818.5 人	15.8 人	834.3 人
1日当たり平均外来患者数	1,860.2 人	94.0 人	1,954.2 人
1日当たり平均調剤数	1,255.00 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要 手術支援ロボット(da Vinci)を用いた腹腔鏡下根治的前立腺摘除術は、低侵襲であり、癌の根治性、尿禁性、男性機能温存について良好な結果が得られるものである。			
医療技術名	肝腫瘍に対する腹腔鏡(補助)下肝切除	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腹腔鏡下肝切除術は、腹腔鏡を用いることにより、従来の開腹による肝切除術よりも低侵襲の手術を行うことができるものである。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 手術支援ロボット(da Vinci)を用いた腹腔鏡下腎部分切除術は、低侵襲であり、癌の根治性、腎機能温存について良好な結果が得られるものである。			
医療技術名	手術支援ロボットを用いた腹腔鏡補助下胃切除	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 手術支援ロボット(da Vinci)を用いることにより、通常開腹手術に近い感覚で、より精確、緻密なリンパ節郭清操作が可能となるものである。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	110人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	72人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	88人	・原発性胆汁性肝硬変	41人
・全身性エリテマトーデス	302人	・重症急性膵炎	13人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	58人
・再生不良性貧血	27人	・混合性結合組織病	52人
・サルコイドーシス	66人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	11人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	214人	・網膜色素変性症	30人
・特発性血小板減少性紫斑病	44人	・プリオン病	0人
・節性動脈周囲炎	60人	・肺動脈性肺高血圧症	31人
・潰瘍性大腸炎	91人	・神経線維腫症	28人
・大動脈炎症候群	38人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	32人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	31人
・脊髄小脳変性症	67人	・ライソゾーム病	8人
・クローン病	36人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋委縮症	6人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	130人	・球脊髄性筋委縮症	4人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	28人
・後縦靭帯骨化症	27人	・肥大型心筋症	18人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	18人	・ミトコンドリア病	14人
・エグナー肉芽腫症	17人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	4人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	138人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	50人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	163人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・画像支援ナビゲーション手術	・
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・超音波骨折治療法	・
・眼底3次元画像解析	・
・内視鏡下小切開泌尿器手術	・
・画像支援ナビゲーションシステムによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	・
・腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの)	・
・遺伝学的検査(色素性乾皮症)	・
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・画像等手術支援加算	・

「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週4日
部 検 の 状 況	部検症例数 47 例 / 部検率 16.60%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
椎間板変性と関連する腰痛性疾患の病態の解明と最小侵襲治療システムの開発	西田 康太郎	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	2,300,000	補委 日本学術振興会
ヘリコバクターピロリ感染胃発癌における菌-宿主間クロストークのメタボローム解析	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	3,300,000	補委 日本学術振興会
キャリアー細胞を用いたアデノウイルスベクターによる頭頸部癌の遺伝子治療	丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	4,200,000	補委 日本学術振興会
IgG-Fc受容体を介した免疫複合体の細胞内輸送システムと免疫制御機構の解明	吉田 優	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,100,000	補委 日本学術振興会
質量分析機器を用いた肝がんの超早期診断方法の開発	瀬尾 靖	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,100,000	補委 日本学術振興会
臨床・基礎融合研究による動脈硬化不安定粥腫ないしその破綻の新規診断法の開発	志手 淳也	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,100,000	補委 日本学術振興会
血清中血管内皮リパーゼ酵素活性の測定法確立と血清HDL値の関連の検討	石田 達郎	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	700,000	補委 日本学術振興会
スフィンゴシンを介した気道粘液産生の制御	西村 善博	呼吸器内科学、呼吸器内科	300,000	補委 日本学術振興会
320列領域検出器型CTを用いた閉塞性肺疾患への抗炎症薬の効果	小谷 義一	呼吸器内科学、呼吸器内科	400,000	補委 日本学術振興会
脂肪滴蛋白FSP27が可能にする効率的な細胞内脂肪滴蓄積の分子メカニズムの解明	田守 義和	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	800,000	補委 日本学術振興会
カベオラ膜結合型ビタミンD受容体を介する神経-骨-免疫系による造血制御の解明	松井 利充	血液内科学、血液内科	100,000	補委 日本学術振興会
ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の免疫制御機構の解明と新規細胞治療法の開発	森信 暁雄	臨床検査医学 臨床検査・免疫学	1,200,000	補委 日本学術振興会
320列領域検出器型CTを用いた慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息の形態機能診断法開発	竹中 大祐	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	400,000	補委 日本学術振興会
320列領域検出器型CTを用いた肝臓腫瘍における形態・機能融合診断法の開発	吉川 武	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	400,000	補委 日本学術振興会
オートファジーを標的とした膵癌に対する集学的な新規放射線化学療法の開発	岡本 欣晃	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	800,000	補委 日本学術振興会
軸索再生阻害因子の抑制による顔面神経再生の誘導	谷口 理章	脳神経外科学、脳神経外科	900,000	補委 日本学術振興会
表在性膀胱癌の再発関連分子の同定とそれを標的にした新規治療法の開発	三宅 秀明	腎泌尿器科学、泌尿器科	900,000	補委 日本学術振興会
Sox4による子宮筋腫発育制御機構に及ぼすSPRMの作用機序の解明	小原 範之	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	900,000	補委 日本学術振興会
銀イオンが創傷治癒機転に及ぼす影響の分子生物学的解析-創傷治癒を促進させるか-	臯月 玲子	形成外科学、形成外科、美容外科	900,000	補委 日本学術振興会

小計
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
点字文書提供システムを使った点訳文書の整備と病院内運用体制の構築	大島 敏子	看護部	600,000	(補委) 日本学術振興会
病院向け自動点訳プログラムの開発	菅野 亜紀	医療情報部	600,000	(補委) 日本学術振興会
好塩基球上のFcレセプターを介した気管支喘息の制御	船田 泰弘	呼吸器内科学、呼吸器内科	300,000	(補委) 日本学術振興会
計算解剖モデルを利用した診断治療・教育・遠隔支援システムの開発	杉本 真樹	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	3,000,000	(補委) 文部科学省
感染・炎症によるゲノム不安定性と発がん機構	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	19,100,000	(補委) 文部科学省
脂肪蓄積制御の生理と病理における遺伝子転写ネットワーク解析	小川 涉	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	13,700,000	(補委) 文部科学省
パーキンソン病および認知機能関連分子とパーソナルゲノム解析	戸田 達史	分子脳科学	29,000,000	(補委) 文部科学省
遺伝子医療の推進における薬剤師の戦略的活用	平井 みどり	薬物動態学、薬剤学、薬剤部	3,000,000	(補委) 日本学術振興会
原発性肝癌に対する陽子線と炭素イオン線の無作為比較試験	村上 昌雄	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	2,900,000	(補委) 日本学術振興会
眼圧依存性視神経障害の発症メカニズムの解明と他覚的解析方法の確立	根木 昭	眼科学、眼科	3,100,000	(補委) 日本学術振興会
ヘリコバクター属細菌感染と消化器疾病構造の疫学調査研究	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	4,600,000	(補委) 日本学術振興会
アレルギー性及び光アレルギー性評価の多項目代替試験法の開発	尾藤 利憲	皮膚科学、皮膚科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
鍼刺激による骨格筋幹細胞の増殖誘導を利用した治療法の開発	高岡 裕	医療情報部	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
高比重リポ蛋白による心保護作用についての検討	川合 宏哉	地域社会医学・健康科学講座 総合臨床教育・育成学分野	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
新規アディポカイン、ケマリンの糖尿病発症における役割の解明	高橋 路子	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
均衡型および不均衡型転座の解析に基づく造血器腫瘍の発症機序の解明	山本 克也	腫瘍・血液内科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
関節リウマチにおけるマイクロRNAによるインテグリンの制御に関する研究	河野 誠司	検査部	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
悪性黒色腫、乾癬、円形脱毛症に対するIL-27の治療的有用性についての基礎的検討	永井 宏	皮膚科学、皮膚科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
自殺行動に関連したメタボロミクスによるバイオマーカーの探索	笹田 徹	精神医学、精神科神経科	700,000	(補委) 日本学術振興会
多軸拡散テンソル画像による統合失調症の画像解析の検討	小西 淳也	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	700,000	(補委) 日本学術振興会

小計 累計
20 39

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
塩酸ドネペジルを用いた放射線治療後の高次脳機能低下症に対する新規治療法の開発	佐々木 良平	放射線医学、放射線科、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
腫瘍抗原特異的CD4+T細胞の効率的な誘導と生体内維持による癌免疫療法の確立	山下 公大	食道胃腸外科学、食道胃腸外科	800,000	(補委) 日本学術振興会
肝門部胆管癌に対する吸収性スーサーを用いた手術と粒子線による2段階治療	福本 巧	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
高輝度放射光のマイクロビーム照射が脳腫瘍を選択的に壊死させる機序について	近藤 威	脳神経外科学、脳神経外科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
多点節接触力覚呈示脳モデルの基礎的研究	藤田 敦史	脳神経外科学、脳神経外科	900,000	(補委) 日本学術振興会
グリオーマの予後を規定するマイクロRNAの同定と新たな治療戦略の構築	篠山 隆司	脳神経外科学、脳神経外科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
ニューラルネットワーク制御による多指機構を有する5指駆動型筋電義手の開発	陳 隆明	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
生体吸収性スキャフォールドによる細胞培養移植を要しない肩腱板再生	国分 毅	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
幹細胞動員因子を用いた関節軟骨靭帯再生ー幹細胞を基盤とした再生医療ー	黒田 良祐	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
ホウ素中性子捕捉療法を用いた明細胞肉腫の治療方法の開発	藤本 卓也	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
妊娠中の吸入麻酔薬暴露が出生後の仔の脳神経発達に及ぼす影響	植木 正明	麻酔科学、麻酔科、集中治療部	700,000	(補委) 日本学術振興会
リンパ管内皮細胞の分子生物学的解析～プロスタノイドレセプターを巡って～	野村 正	形成外科学、形成外科、美容外科	700,000	(補委) 日本学術振興会
顔面神経一舌下神経クロスリンク型神経移植術における神経回路再構築の機序を探る	橋川 和信	形成外科学、形成外科、美容外科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
末梢神経損傷後の脊椎マイクログリアで増加するP2Y受容体の疼痛への関与	柳本 富士雄	麻酔科学、麻酔科、集中治療部	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
1R内視鏡の開発	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
PVAハイドロゲルを基材とした新しい小口径人工血管の開発	田原 真也	形成外科学、形成外科、美容外科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
光学的力学的センシング技術による実時間的画像誘導手術システムの開発	杉本 真樹	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
質量分析計を用いたメタボローム解析による大腸がんバイオマーカーの探索	奥野 達哉	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
HDLの抗動脈硬化作用におけるELの機能解析	原 哲也	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
糖化最終産物受容体の低回転骨における役割の解明	濱田 康弘	栄養管理部	900,000	(補委) 日本学術振興会

小計 累計
20 59

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小胞体ストレスによる膵β細胞量調節機構	松田 友和	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科学	1,900,000	(補委) 日本学術振興会
新規インスリン分泌能評価法の開発およびその遺伝子との関連に関する研究	廣田 勇士	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科学	900,000	(補委) 日本学術振興会
低出生体重後の膵β細胞量調節機構の解明	橋本 尚子	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科学	1,900,000	(補委) 日本学術振興会
増殖因子シグナルの制御による関節リウマチ治療法の開発	三枝 淳	臨床検査医学 臨床検査・免疫学	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
最新技術を駆使した先天性腎尿路奇形の網羅的遺伝子解析と疾患データベースの構築	貝藤 裕史	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親子の心療部	800,000	(補委) 日本学術振興会
皮膚炎症を制御する多彩な因子に関する研究	福永 淳	皮膚科学、皮膚科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
呼吸器機能画像における低線量画像法の開発	神山 久信	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
dp53遺伝子治療併用粒子線治療に関する基礎的研究	宮脇 大輔	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
Olig-1、Olig-2遺伝子導入による悪性グリオーマ治療の試み	水川 克	脳神経外科学、脳神経外科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
骨軟部肉腫に対する長寿因子SIRT1を標的とした分子標的治療への応用	河本 旭哉	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	900,000	(補委) 日本学術振興会
胚様体形成を介さないマウスiPS細胞の骨分化誘導法の確立と骨再生への応用	李 相亮	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
椎間板髄核細胞のアポトーシスを誘発する遺伝子シグナル伝達の解明	前野 耕一郎	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
新生児期マウスへの吸入麻酔薬暴露が脳神経栄養因子に与える影響	森下 淳	麻酔科学、麻酔科、集中治療部	500,000	(補委) 日本学術振興会
嗅神経細胞の発生・再生におけるネクチン・ファミリーを中心とした分子機構の解明	勝沼 紗矢香	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
ABCトランスポーターの網膜血管新生における役割の解明	楠原 仙太郎	眼科学、眼科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
新しい脱細胞化技術による小口径人工血管の開発～その実用化を目指して～	榊原 俊介	形成外科学、形成外科、美容外科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
静脈奇形の脂肪酸解析～静脈奇形研究モデルの確立を目指して～	江尻 浩隆	形成外科学、形成外科、美容外科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
無細胞性真皮マトリックス上での複合粘膜炎培養法を応用した新しい癌浸潤モデルの開発	重田 崇至	口腔外科学、歯科口腔外科	700,000	(補委) 日本学術振興会
インクレチンとインスリンシグナルペプチドを用いた1型糖尿病の免疫寛容の誘導	荒井 隆志	総合内科	1,130,000	(補委) 日本学術振興会
骨組織による神経を介したリンパ球分化増殖制御機構の解明	片山 義雄	血液内科学、血液内科	5,400,000	(補委) 文部科学省

小計 累計
20 79

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患の分子標的治療と病態解明	戸田 達史	分子脳科学	14,100,000	(補委) 日本学術振興会
造血制御中枢としての骨組織の評価	片山 義雄	血液内科学、血液内科	7,200,000	(補委) 日本学術振興会
膝前十字靭帯再建術における血管幹細胞応用の可能性	黒坂 昌弘	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	7,200,000	(補委) 日本学術振興会
赤外レーザーによる乳頭温存結石治療の開発研究	早雲 孝信	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
MR内視鏡システムを用いた消化管癌に対する新たな治療支援技術の開発	森田 圭紀	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
視覚障害者の患者が利用可能な病院内の触地図提供に向けた研究	花岡 澄代	看護部	2,200,000	(補委) 日本学術振興会
遺伝子解析とプロテオーム解析を駆使したアジア型がんに対するキナーゼ阻害薬の個別化	向原 徹	腫瘍・血液内科	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
プロテオーム、メタボローム解析によるがん薬至適投与方法の確立	南 博信	腫瘍・血液内科	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
1型糖尿病免疫寛容モデルでの樹状細胞の病原体感知センサーの役割と臨床応用の検討	安田 尚史	総合内科	2,600,000	(補委) 日本学術振興会
質量分析計を用いた食道がん早期診断法の開発	豊永 高史	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
SRp20が制御する選択的スプライシングの異常と発がん	棚橋 俊仁	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	3,300,000	(補委) 日本学術振興会
スフィンゴリン脂質シグナル制御による新しい気管支喘息治療へのアプローチ	小林 和幸	呼吸器内科学、呼吸器内科	2,100,000	(補委) 日本学術振興会
新規CAKUT原因遺伝子の発現・機能解析と包括的遺伝子診断システムの構築	飯島 一誠	こども発育学(寄附講座)	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
下垂体機能低下症における新規自己抗体の同定と臨床応用	井口 元三	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
好酸球増多症候群に対する新しいバイオマーカーに基づいた診断と標準治療法の確立	定 明子	血液内科学、血液内科	2,300,000	(補委) 日本学術振興会
マイクロRNAによる新規関節リウマチ治療法の開発	中町 祐司	検査部	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
筋ジストロフィーに対するアンチセンス治療における線維化因子の動態に関する研究	竹島 泰弘	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親子の心療部	1,900,000	(補委) 日本学術振興会
エクソスキッピング誘導効率を規定するシス因子の解明	八木 麻理子	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親子の心療部	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
紫外線による皮膚発癌、皮膚炎症、白内障及び乾癬におけるホスホリパーゼCεの役割	岡 昌宏	皮膚科学、皮膚科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
体内空間創造による難治癌に対する新規放射線治療法の開発	村岡 修	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,500,000	(補委) 日本学術振興会

小計 累計
20 99

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒトCD133陽性膵癌幹細胞を用いた新規膵癌治療薬の開発	清水 一也	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	2,200,000	(補委) 日本学術振興会
尾側膵切除における術前内視鏡的膵管ステント留置術の有用性	松本 逸平	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	600,000	(補委) 日本学術振興会
癌宿主相互作用による肺癌の浸潤・転移におけるNECL5の役割の研究	眞庭 謙昌	心臓血管外科学、心臓血管外科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
変形性関節症の治療を目的とした軟骨細胞のアポトーシス制御機構の解明	西山 隆之	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	2,800,000	(補委) 日本学術振興会
尿路上皮癌の悪性進展における上皮間葉転換の分子生物学的検討	村蒔 基次	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
生殖・産科異常におけるリラキシンと免疫異常の関連解明	山田 秀人	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
卵巣癌において異常活性化したリン酸化酵素の同定とその特異的阻害剤の開発	須藤 保	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
響外傷性難聴における細胞死制御メカニズムと新たな治療法開発	山下 大介	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
咽頭癌治療における新たな嚥下リハビリテーション、嚥下評価法の開発	斎藤 幹	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
加齢黄斑変性の病態特異的な遺伝子多型の同定と個別化治療への応用	本田 茂	眼科学、眼科	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
視神経変性における網膜・視神経のアクアポリンの局在変化と網膜神経節細胞死への関与	中村 誠	眼科学、眼科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
未熟児網膜症におけるアドレナリン α 1受容体の役割解明と制御による治療法の開発	塚原 康友	眼科学、眼科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
点字文書提供システムを用いた病院内運用体制の確立	松浦 正子	看護部	2,400,000	(補委) 日本学術振興会
栄養感知システムmTORシグナルの分子基盤の解明と分子栄養学への展開	原 賢太	総合内科	2,000,000	(補委) 日本学術振興会
免疫性の認識と個別対応を備えたweb修システムの開発	平井 みどり	薬物動態学、薬剤学、薬剤部	2,100,000	(補委) 日本学術振興会
新規アディポカイン、ケマリンによる褐色脂肪調節機構の解明	高橋 裕	糖尿病・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
革新的実時間的自動手術支援ロボットナビゲーションシステムの開発	杉本 真樹	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
高濃度吸入麻酔薬による胎児麻酔後の脳神経発達障害に及ぼす影響とその機序の解明	魚川 礼子	麻酔科学、麻酔科、集中治療部	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
婦人科腫瘍におけるメタボローム解析と関連遺伝子発現・遺伝子多型に関する検討	森田 宏紀	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
網羅的プロテオーム解析による頭頸部癌早期診断法の開発	丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会

小計 累計
20 119

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
光照射による創傷治癒のメカニズムを解明する	寺師 浩人	形成外科学、形成外科、美容外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
メタボロミクスによる炎症性腸疾患の評価とその治療候補因子の同定	西海 信	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,500,000	補委 日本学術振興会
変形性関節におけるオートファジーの役割	松下 雄彦	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	1,900,000	補委 日本学術振興会
緩和ケアチームの介入が悪性腫瘍患者の生活の質にもたらす効果に関する研究	坂下 明大	腫瘍センター	1,400,000	補委 日本学術振興会
動脈硬化形成における制御性T細胞の関与の解明と新規動脈硬化予防法・治療法の開発	佐々木 直人	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,400,000	補委 日本学術振興会
Dysfunctional HDLが冠動脈疾患の進展退縮に及ぼす影響の解明	杜 隆嗣	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,700,000	補委 日本学術振興会
高比重リポ蛋白の質を規定するバイオマーカーの検索	安田 知行	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,700,000	補委 日本学術振興会
免疫における血管内皮リパーゼ阻害・過発現の血清脂質と動脈硬化に及ぼす効果の検討	孫 麗	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附講座)	1,700,000	補委 日本学術振興会
気管支喘息の母子間垂直伝播における免疫分子の輸送機構の解明	中田 恭介	呼吸器内科学、呼吸器内科	2,000,000	補委 日本学術振興会
リンパ球活性化マーカーTFLの免疫制御システムの解明	皆川 健太郎	総合内科	2,000,000	補委 日本学術振興会
新規非翻訳RNAのクローニングとグルタミン酸レセプター遺伝子への影響に関する研究	栗野 宏之	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,700,000	補委 日本学術振興会
ヒト未熟児網膜症発症における神経軸索誘導分子群の遺伝子変異に関する研究	三輪 明弘	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,400,000	補委 日本学術振興会
子宮内胎児発育遅延児における長寿遺伝子発現に関する研究	森岡 一朗	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,200,000	補委 日本学術振興会
子宮内胎児発育遅延児の胎盤形成遺伝子(Rtl1)メチル化異常に関する研究	藤岡 一路	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部	1,600,000	補委 日本学術振興会
自殺者死後脳におけるストレス蛋白質C/Fと関連遺伝子の発現変化	菱本 明豊	精神医学、精神科神経科	1,700,000	補委 日本学術振興会
放射光を用いた微小グリッド高精細格子状照射による難治癌治療の基礎的研究	西村 英輝	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,800,000	補委 日本学術振興会
放射光微小ビームを用いた新規放射線治療の基礎物理的研究	中山 雅央	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	900,000	補委 日本学術振興会
放射線抵抗性腫瘍におけるNF-κB活性化の意義とその臨床応用に向けての研究	吉田 賢史	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,600,000	補委 日本学術振興会
3テスラMRIを用いた超高B値拡散強調画像による前立腺癌検出システムの確立	北島 一宏	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,500,000	補委 日本学術振興会
悪性グリオーマに対する神経線維追跡放射線治療の検討	上原 和之	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,100,000	補委 日本学術振興会

小計 累計
20 139

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝硬変モデルにおける切除後肝再生機序の解明	蔵満 薫	肝胆脾外科学、肝胆脾外科、救急・集中治療センター	1,900,000	(補委) 日本学術振興会
iPS細胞を用いた椎間板再生医療と生体内iPS細胞バンク作成への挑戦	角谷 賢一朗	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
P21発現制御による変形性関節症における関節軟骨再生への挑戦	林 申也	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
Parathyroid hormoneの難治性骨折・骨癒合不全治療への応用	新倉 隆宏	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
腎細胞癌におけるAurora-Aの役割の解明および新規治療の開発	寺川 智章	腎泌尿器科学、泌尿器科	800,000	(補委) 日本学術振興会
尿路感染症由来緑膿菌臨床株の薬剤耐性機構とその迅速診断法の研究	松本 稯	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
ヒトセルトリ細胞株の樹立と抗癌剤がおよぼす造精機能障害の分子メカニズムの解明	山口 耕平	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
受容体型チロシンキナーゼSykの子宮内膜脱落膜化に与える影響の解析	陌間 亮一	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	2,000,000	(補委) 日本学術振興会
糖尿病が内耳の加齢変化に与える影響とそのメカニズムの解明	藤田 岳	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
質量分析計を利用した嗅覚障害の病態解明	土井 清司	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,200,000	(補委) 日本学術振興会
頭頸部癌に対する粒子線治療効果についての研究	森本 浩一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
各種視神経症における軸索輸送の制御蛋白の関与	金森 章泰	眼科学、眼科	2,000,000	(補委) 日本学術振興会
細胞間接着複合体に着眼した癌新生リンパ管の特質性の解明	明石 昌也	口腔外科学、歯科口腔外科	900,000	(補委) 日本学術振興会
mTOR依存性 β 細胞量増加と自己免疫促進をきたすNODRhebでの自己免疫制御	佐々木 弘智	総合内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
メトホルミンによるmTOR阻害剤エベリムスの抗腫瘍効果の増大と血糖変動改善効果	紀平 裕美	薬物動態学、薬理学、薬剤部	500,000	(補委) 日本学術振興会
優れた薬品情報提供に必要なスキルの可視化と総括的システムの構築	谷藤 亜希子	薬物動態学、薬理学、薬剤部	300,000	(補委) 日本学術振興会
心臓超音波ストレイン法による筋ジストロフィー症の心筋障害早期発見の取り組み	山本 哲志	検査部	200,000	(補委) 日本学術振興会
頭頸部癌手術後患者への顎補綴作成と嚥下圧検査の有用性に関する研究	荒田 浩幸	口腔外科学、歯科口腔外科	400,000	(補委) 日本学術振興会
放射線によるがん転移への影響	村上 昌雄	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	800,000	(補委) 日本学術振興会
パーキンソン病患者における腸内細菌叢の網羅的検討による新規発症機序の探索	古和 久朋	神経内科	100,000	(補委) 日本学術振興会

小計 累計
20 159

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
High throughput sequencerによる癌のエピゲノーム解析	錦織 千佳子	皮膚科学、皮膚科	400,000	(補委) 日本学術振興会
Duchenne型筋ジストロフィーに合併する精神発達遅滞に関する新規遺伝子群	竹島 泰弘	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親子の心療部	300,000	(補委) 日本学術振興会
妊婦高血圧症候群の病因・病態および遺伝・環境交互作用の解明と遺伝子型別介入研究	山田 秀人	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	100,000	(補委) 日本学術振興会
早期の癌に対する標準的放射線治療方法の確立と適応決定に関する研究	佐々木 良平	放射線医学、放射線科、放射線腫瘍科、画像診断学部門	200,000	(補委) 日本学術振興会
放射線および化学物質の直接人体影響とそのメカニズム	村上 昌雄	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科、画像診断学部門	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
中咽頭がん患者の化学放射線療法による味覚とQOLに関する多施設協同前向き臨床試験	丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	80,000	(補委) 日本学術振興会
社会性とメンタルヘルスの双生児研究－遺伝子と脳活動をつなぐ	戸田 達史	分子脳科学	8,500,000	(補委) 日本学術振興会
デノシンデアミナーゼ阻害剤による関節リウマチの新規治療開発	中町 祐司	検査部	50,000	(補委) 日本学術振興会
日本人先天性・乳児ネフローゼ症候群における新しい責任遺伝子同定と発症機序の解明	飯島 一誠	小児科学、こども発育学(寄附講座)	70,000	(補委) 日本学術振興会
大学病院における医療連携システムの評価と標準化の検討	内藤 純子	患者支援センター	150,000	(補委) 日本学術振興会
臓器移植患者の予後およびQOLの向上のための真菌やウイルス感染症の予防・診断・治療に関する研究	森 康子	臨床ウイルス学	3,600,000	(補委) 厚生労働省
ウイルス性肝炎の病態に応じたウイルス側因子の解明と治療応用	堀田 博	微生物学	3,000,000	(補委) 厚生労働省
糖尿病関連血管病(動脈硬化・足病変)の早期診断・治療のための高感度分子イメージングプローブの開発	塩見 雅志	動物実験施設	500,000	(補委) 厚生労働省
ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究	森 康子	臨床ウイルス学	1,500,000	(補委) 厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	南 博信	腫瘍・血液内科学	3,000,000	(補委) 厚生労働省
肝炎ウイルスによる肝疾患発症の宿主要因と発症予防に関する研究	堀田 博	微生物学	3,500,000	(補委) 厚生労働省
治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	黒田 大介	食道胃腸外科学	300,000	(補委) 厚生労働省
rasがん遺伝子産物の新規立体構造情報に基づくがん分子標的治療薬の開発	片岡 徹	分子生物学	78,000,000	(補委) 厚生労働省
肝炎ウイルスによる発がん機構の解明に関する研究	堀田 博	微生物学	34,150,000	(補委) 厚生労働省
培養細胞感染系の確立されていない病原体の実験技術の開発と予防診断法に関する研究	勝二 郁夫	微生物学	3,500,000	(補委) 厚生労働省

小計 累計
20 179

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
鯉弓耳腎 (BOR) 症候群の遺伝子診断法の確立と診療体制モデル構築に関する研究	飯島 一誠	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親子の心療部	13,000,000	(補委) 国立保健医療科学院
鯉弓耳腎 (BOR) 症候群の遺伝子診断法の確立と診療体制モデル構築に関する研究	貝藤 裕史	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親子の心療部	1,000,000	(補委) 国立保健医療科学院
がん診療連携拠点病院の機能のあり方及び全国レベルのネットワークの開発に関する研究	南 博信	腫瘍・血液内科学	500,000	(補委) 厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	西 慎一	腎・血液浄化センター、腎臓内科学	1,500,000	(補委) 国立保健医療科学院
進行性腎障害に関する調査研究	西 慎一	腎・血液浄化センター、腎臓内科学	1,000,000	(補委) 国立保健医療科学院
神経皮膚症候群に関する調査研究	苅田 典生	神経内科学	1,100,000	(補委) 国立保健医療科学院
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	堀田 博	微生物学	1,600,000	(補委) 国立保健医療科学院
年齢黄斑変性に対する個別化医療実現のための前向き臨床研究にもとづくゲノムワイド関連解析	根木 昭	眼科学	1,800,000	(補委) 厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	石井 具	災害・救急医学	120,000	(補委) 厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	錦織 千佳子	皮膚科学	2,400,000	(補委) 国立保健医療科学院
白斑・白皮症の本邦における診断基準及び治療指針の確立	錦織 千佳子	皮膚科学	500,000	(補委) 国立保健医療科学院
先天性サイトメガロウイルス感染症対策のための妊婦教育の効果の検討、妊婦・新生児スクリーニング体制の構築及び感染新生児の発症リスク同定に関する研究	山田 秀人	産科婦人科学	5,000,000	(補委) 厚生労働省
進行頭頸部がんに対する化学放射線療法を中心とした集学的治療の開発に関する研究	清田 尚臣	腫瘍・血液内科	600,000	(補委) 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	藤澤 正人	腎泌尿器科学	150,000	(補委) 厚生労働省
災害時高齢者医療の初期対応と救急搬送基準に関するガイドライン作成に関する研究	横野 浩一	老年内科学	1,500,000	(補委) 厚生労働省
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および安全性に関する多施設共同研究	森田 圭紀	消化器内科学	300,000	(補委) 厚生労働省
脊髄性筋萎縮症の臨床実態の分析、遺伝子解析、治療法開発の研究	西尾 久英	疫学	800,000	(補委) 国立保健医療科学院
遺伝性対側性および汎発性色素異常症の本邦における診療実態の把握、治療指針の作成と新治療戦略の開発	錦織 千佳子	皮膚科学	500,000	(補委) 国立保健医療科学院
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	具 英成	肝胆膵外科学	500,000	(補委) 厚生労働省
肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究	勝二 郁夫	微生物学	4,000,000	(補委) 厚生労働省

小計 累計
20 199

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法、予防法の確立に関する研究	新矢 恭子	人獣共通感染症学	2,500,000	(補委) 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	戸田 達史	神経内科学	1,500,000	(補委) 国立保健医療科学院
原発性中性脂肪蓄積心筋血管症に対する医師主導型治験へのアプローチ	戸田 達史	神経内科学	200,000	(補委) 国立保健医療科学院
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	戸田 達史	神経内科学	800,000	(補委) 国立保健医療科学院
原発性高脂血症に関する調査研究	平田 健一	循環器内科学	1,500,000	(補委) 国立保健医療科学院
術中大量出血時の凝固障害機序の解明と止血のための輸血療法の確立ー手術中の大量出血をいかにして防ぐかー	大北 裕	心臓血管外科学	300,000	(補委) 厚生労働省
造血器悪性腫瘍及び転移性がんで高頻度に異常を来している遺伝子を標的とした新たな治療法の開発に資する研究	的崎 尚	生化学・分子生物学	5,000,000	(補委) 厚生労働省
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	山下 大介	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	600,000	(補委) 国立保健医療科学院
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	松井 利充	血液内科学	18,300	(補委) 厚生労働省
孤発性パーキンソン病遺伝子同定と創薬・テララーメード研究	戸田 達史	神経内科学	39,000,000	(補委) 国立保健医療科学院
構造生物学的アプローチによるアルツハイマー病の病態解明と分子標的治療の開発	廣明 秀一	構造生物学	5,000,000	(補委) 厚生労働省
切除不能進行・再発胃癌に対する個別化治療に関する研究	奥野 達哉	消化器内科学	400,000	(補委) 厚生労働省
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	高橋 裕	糖尿病内分泌内科学	2,300,000	(補委) 国立保健医療科学院
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	片山 義雄	血液内科	481,700	(補委) 厚生労働省
次世代シーケンサーを用いた孤発性の経難病の発症機構の解明に関する研究	戸田 達史	神経内科学	102,840,000	(補委) 厚生労働省
血液検体のゲノム・エピゲノム・トランスクリプトーム解析に基づく、肺癌・肺がん等の高危険度群の補足のためのバイオマーカーの同定	吉田 優	消化器内科学	9,250,000	(補委) 厚生労働省
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験 (治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	山下 公大	食道胃腸外科	81,900	(補委) 財団法人がん集学的治療研究財団
アルツハイマー病臨床評価の標準化研究	山本 泰司	精神科神経科	2,015,129	(補委) バイオテクノロジー開発技術研究組合
日本における薬剤溶出型ステントの無作為化臨床試験 (J-DES s ERT)	志手 淳也	冠動脈疾患治療部	990,000	(補委) 特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会
Stage III (Dukes' C) 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのカベシタピンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験	山下 公大	食道胃腸外科	10,000	(補委) 財団法人がん集学的治療研究財団

小計 累計
20 219

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症虚血肢患者を対象とした単径靱帯以下動脈領域における末梢血管内治療 (EVT) に関する多施設による12ヶ月追跡調査	新家 俊郎	循環器内科	40,000	補 特定非営利活動法人 ⑤ インターベンションの エビデンスを創る会
ゲムシタピン不応胆道癌に対するゲムシタピンとオキサリプラチンの併用療法 (GEMOX) の第II相試験	奥野 達哉	光学医療診療部	2,221,968	補 財団法人しずおか産 ⑤ 業創造機構
化学療法歴のない進行胃癌に対するTS-1+シスプラチン併用療法の5週サイクル法と3週サイクル法とのランダム化比較第III相試験 (SOS Study)	奥野 達哉	光学医療診療部	630,000	補 特定非営利活動法人 ⑤ 西日本がん研究機構
点字と触地図による視覚障害者支援システムの研究開発 (101707012)	高岡 裕	医療情報部	18,540,600	補 総務省情報通信国際 ⑤ 戦略局
がん切除後の下顎骨再建法の標準化	橋川 和信	形成外科	1,000,000	補 独立行政法人国立がん ⑤ 研究センター
頭頸部癌に対する術後化学放射線療法の開発	清田 尚臣	腫瘍・血液内科	500,000	補 独立行政法人国立がん ⑤ 研究センター
認知症用の炎症PETプローブの臨床開発	山本 泰司	精神科神経科	1,000,000	補 文部科学省 ⑤
認知症臨床研究・治験ネットワークの構築とネットワークを利用した認知症臨床研究の推進に関する研究	山本 泰司	精神科神経科	700,000	補 独立行政法人国立長 ⑤ 寿医療研究センター
三次元造形技術による極限擬似血管モデルの開発	田原 真也	形成外科	2,852,428	補 株式会社インテリジェ ⑤ ト・コスモス研究機構(経 済産業省再委託)
NEXT試験: 実地臨床におけるバイオリムス溶出性ステント (BES) とエベロリムス溶出性ステント (EES) の有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験	志手 淳也	冠動脈疾患治療部	440,000	補 財団法人生産開発科 ⑤ 学研究所
遠隔転移を有する肺癌に対するS-1/Leucovorin (LV) 療法の第II相試験	奥野 達哉	消化器内科	601,230	補 財団法人しずおか産 ⑤ 業創造機構
新規がん抑制遺伝子TFLのモノクローナル抗体を用いた悪性リンパ腫の診断と予後予測	皆川 健太郎	総合内科	1,700,000	補 独立行政法人科学技 ⑤ 術振興機構
関節リウマチ分子治療薬候補分子miR-124aのラットでの効果を組織学的・臨床的に明らかにするための研究	河野 誠司	検査部	1,700,000	補 独立行政法人科学技 ⑤ 術振興機構
超高純度マグネシウムを用いた生体吸収性ポーンプレート製造技術の開発	田原 真也	形成外科	2,230,995	補 公益財団法人福島県産 ⑤ 業振興センター(経済産 業省再委託)
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験	坂口 一彦	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,800,000	補 財団法人 国際協力 ⑤ 医学研究振興財団
虚血性心疾患における心電図同期SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-3	川合 宏哉	循環器内科 (総合臨床教育・育成学)	178,500	補 財団法人循環器病研 ⑤ 究振興財団
神経変性疾患iPS細胞由来疾患材料を用いた遺伝学的解析	戸田 達史	神経内科学	13,000,000	補 独立行政法人科学技 ⑤ 術振興機構
超低侵襲治療機器システムの研究開発 / (2) 高精度X線治療機器の研究開発 / がんの超早期局在診断に対応した高精度X線治療システム研究開発	佐々木 良平	放射線医学	10,200,000	補 株式会社アキュセラ(独 ⑤ 立行政法人新エネル ギー・産業技術総合開 発機構再委託)
冠動脈疾患既往患者における高脂血症治療薬の血管イベント発症の二次予防効果および抗動脈硬化作用を評価する臨床研究	平田 健一	循環器内科	294,000	補 財団法人先端医療振 ⑤ 興財団
65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリブチンあるいはグリメヒリドによる有効性及び安全性に関する比較検討試験 (START-J)	坂口 一彦	糖尿病・代謝・内分泌内科	472,500	補 社団法人日本糖尿病 ⑤ 協会

小計 累計
20 239

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為比較試験 (CAS-CARE)	藤田 敦史	脳神経外科	409,500	補 ⑤委 財団法人先端医療振興財団
トランス脂肪酸による動脈硬化性疾患の発生機序の解明と健康影響評価手法の確立	平田 健一	循環器内科学	20,000,000	補 ⑤委 内閣府食品安全委員会
GTP適合脂肪組織採取に関するデータ収集、SOP作成およびSOP遵守採取の実施	一瀬 晃洋	形成外科学	5,200,000	補 ⑤委 独立行政法人医薬基盤研究所
進行肝胆膵がんの治療法の開発に関する研究	東 健	消化器内科学	120,000	補 ⑤委 独立行政法人国立がん研究センター
腎機能低下患者におけるS1の薬理動態試験	南 博信	腫瘍・血液内科学	1,300,000	補 ⑤委 独立行政法人国立がん研究センター
筋ジストロフィーの治療拠点整備, 包括的診療ガイドラインの研究	竹島 泰弘	小児科学	1,200,000	補 ⑤委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究	戸田 達史	神経内科学	1,000,000	補 ⑤委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
小児の免疫・アレルギー疾患の発症・重症化の機序と治療法についての研究	飯島 一誠	小児科学	1,000,000	補 ⑤委 独立行政法人国立成育医療研究センター
食品中のアルミニウムの神経発達系への影響など、新生児発育に対するリスク評価研究	吉田 優	病因病態解析学	6,000,000	補 ⑤委 内閣府食品安全委員会
メタボローム解析による機能性食物繊維の作用機序解明とその臨床応用に向けた食品開発	吉田 優	病因病態解析学	99,600,000	補 ⑤委 農林水産省農林水産技術会議事務局
消化器用レーザーラマン分光診断・治療支援システムの実用化	東 健	消化器内科学	14,950,000	補 ⑤委 独立行政法人科学技術振興機構
「実臨床におけるNoboriバイオリムスA9エリチューディングステントの至適二剤併用抗血小板療法 (DAPT) 期間の検討」 (NIPPON)	新家 俊郎	循環器内科学	20,000	補 ⑤委 特定非営利活動法人イニターベンションのエビデンスを創る会

小計 計
12 251

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Radiol	Quantitative bronchial luminal volumetric assessment of pulmonary function loss by thin-section MDCT in pulmonary emphysema patients	Koyama H, Ohno Y, Yamazaki Y, Onishi Y, Takenaka D, Yoshikawa T, Nishio M, Matsumoto S, Murase K, Nishimura Y, Sugimura K	放射線部
Eur J Radiol	Non-small cell carcinoma: comparison of postoperative intra- and extrathoracic recurrence assessment capability of qualitatively and/or quantitatively assessed FDG-PET/CT and standard radiological examinations	Onishi Y, Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Takenaka D, Matsumoto K, Yoshikawa T, Matsumoto S, Maniwa Y, Nishimura Y, Sugimura K	放射線部
Eur J Radiol	Potential contribution of multiplanar reconstruction (MPR) to computer-aided detection of lung nodules on MDCT	Matsumoto S, Ohno Y, Yamagata H, Nogami M, Kono A, Sugimura K	放射線部
Acad Radiol	Assessment of Pulmonary Hypertension What CT and MRI Can Provide	Okajima Y, Ohno Y, Washko GR, Hatabu H	放射線部
Radiology	N stage disease in patients with non-small cell lung cancer: efficacy of quantitative and qualitative assessment with STIR turbo spin-echo imaging, diffusion-weighted MR imaging, and fluorodeoxyglucose PET/CT	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Nishio M, Aoyama N, Onishi Y, Takenaka D, Matsumoto S, Maniwa Y, Nishio W, Nishimura Y, Itoh T, Sugimura K	放射線部
Eur J Radiol	CT hepatic perfusion measurement: Comparison of three analytic methods	Kanda T, Yoshikawa T, Ohno Y, Kanata N, Koyama H, Takenaka D, Sugimura K	放射線部
AJR Am J Roentgenol	T2* measurements of 3-T MRI with ultrashort TEs: capabilities of pulmonary function assessment and clinical stage classification in smokers	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto K, Takahashi M, Van Cauteren M, Sugimura K	放射線部
AJR Am J Roentgenol	Diffusion-weighted MRI versus 18F-FDG PET/CT: performance as predictors of tumor treatment response and patient survival in patients with non-small cell lung cancer receiving chemoradiotherapy	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto K, Aoyama N, Onishi Y, Sugimura K	放射線部

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Radiol	Perfusion measurement of the whole upper abdomen of patients with and without liver diseases: Initial experience with 320-detector row CT	Kanda T, Yoshikawa T, Ohno Y, Fujisawa Y, Kanata N, Yamaguchi M, Seo Y, Yano Y, Koyama H, Kitajima K, Takenaka D, Sugimura K	放射線部
J Thorac Imaging	Pulmonary magnetic resonance imaging for airway diseases	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Nishio M, Matsumoto S, Iwasawa T, Sugimura K	放射線部
J Magn Reson Imaging	Ventilation/perfusion imaging of the lung using ultra-short echo time (UTE) MRI in an animal model of pulmonary embolism	Togao O, Ohno Y, Dimitrov I, Hsia CC, Takahashi M	放射線部
Jpn J Radiol	Oxygen-enhanced lung magnetic resonance imaging: influence of inversion pulse slice selectivity on inversion recovery half-Fourier single-shot turbo spin-echo signal	Takenaka D, Puderbach M, Ohno Y, Risse F, Ley S, Sugimura K, Kauczor HU	放射線部
Biochem Biophys Res Commun	SS-A/Ro52 promotes apoptosis by regulating Bcl-2 production	Jauharoh SN, Saegusa J, Sugimoto T, Ardianto B, Kasagi S, Sugiyama D, Kurimoto C, Tokuno O, Nakamachi Y, Kumagai S, Kawano S	輸血部
滋賀県産科婦人科雑誌	母子感染の対策：トキソプラズマとサイトメガロウイルス	山田秀人, 谷村憲司, 森實真由美, 園山綾子, 平久進也, 森岡一朗, 蝦名康彦, 峰松俊夫	周産母子センター
Dig Endosc	Clinicopathological characteristics of abnormal micro-lesions at the Oro-hypopharynx detected by a magnifying narrow band imaging system	Tanaka S, Morita Y, Fujita T, Yokozaki H, Obata D, Fujiwara S, Wakahara C, Masuda A, Sugimoto M, Sanuki T, Yoshida M, Toyonaga T, Kutsumi H, Azuma T	光学医療診療部
Dig Endosc	A case of small early gastric cancer that was successfully detected by narrow band imaging magnifying endoscopy	Morita Y, Fujiwara S, Tanaka S, Toyonaga T, Azuma T	光学医療診療部
Endoscopia Digestiva Terapeutica	Techniques and results of Endoscopic submucosal dissection in esophagus, stomach and duodenum.	Nelson Miyajima, Takashi Toyonaga	光学医療診療部

小計 累計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内視鏡	【進むべきか引くべきか胃と大腸のSM癌-ESD時代の術前診断と治療戦略】 【大腸SM癌の診断と治療】 SM浸潤の可能性のある大腸癌に対するESDの注意点	豊永高史, 西野栄世, 横崎宏, 田中心和, 尾野亘, 岩田恵典, 高田信康, 塩見英之, 森田圭紀, 藤田剛, 早雲孝信, 東健	光学医療診療部
胃と腸	【大腸SM癌に対する内視鏡治療の適応拡大】 主題 内視鏡治療手技における注意点 SM浸潤の可能性のある大腸癌に対するESD	豊永高史, 西野栄世, 横崎宏, 尾野亘, 小畑大輔, 田中心和, 石田司, 塩見英之, 森田圭紀, 藤田欣也, 藤田剛, 早雲孝信, 東健	光学医療診療部
脈経腸栄養	栄養投与の電解質異常にもたらす効果 神戸大学Nutrition & Electrolyte Support Team (NEST) 症例の解析	生田智子, 濱田康弘, 佐竹久美子, 阪本麻友, 田中健太, 矢野美由紀, 野口まどか, 戸田明代, 平井みどり, 宇佐美眞	栄養管理部
J Vasc Surg	Endovascular creation of aortic dissection in a swine model with technical considerations	Okuno T, Yamaguchi M, Okada T, Takahashi T, Sakamoto N, Ueshima E, Sugimura K, Sugimoto K	血管内治療センター
Cardiovasc Intervent Radiol	Is embolization of the pancreas safe? Pancreatic histological changes after selective transcatheter arterial embolization with N-butyl cyanoacrylate in a swine model	Okada T, Yamaguchi M, Takahashi T, Izaki K, Uotani K, Sakamoto N, Sugimura K, Sugimoto K	血管内治療センター
Int J Mol Med	Inhibitory effects of vitamin K ₂ derivatives on DNA polymerase and inflammatory activity	Aoganghua A, Nishiumi S, Kobayashi K, Nishida M, Kuramochi K, Tsubaki K, Hirai M, Tanaka S, Azuma T, Yoshida H, Mizushima Y, Yoshida M	薬剤部
Geriatr Gerontol Int	Role of the mTOR complex 1 pathway in the in vivo maintenance of the intestinal mucosa by oral intake of amino acids	Nakamura A, Hara K, Yamamoto K, Yasuda H, Moriyama H, Hirai M, Nagata M, Yokono K	薬剤部
Biopharm Drug Dispos	Pharmacokinetic properties of lutein emulsion after oral administration to rats and effect of food intake on plasma concentration of lutein	Sato Y, Kobayashi M, Itagaki S, Hirano T, Noda T, Mizuno S, Sugawara M, Iseki K	薬剤部

小計 累計

8 25

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biol Pharm Bull	Protective effect of soy isoflavone genistein on ischemia-reperfusion in the rat small intestine	Sato Y, Itagaki S, Oikawa S, Ogura J, Kobayashi M, Hirano T, Sugawara M, Iseki K	薬剤部
Food Chem	Protective effect of lutein after ischemia-reperfusion in the small intestine	Sato Y, Kobayashi M, Itagaki S, Hirano T, Noda T, Mizuno S, Sugawara M, Iseki K	薬剤部
医薬品情報・評価学	医薬品情報を理解するための医療用語	平野剛, 平井みどり	薬剤部
病気と薬パーフェクトBOOK 2012	SLE	多田恵理, 平井みどり	薬剤部
病気と薬パーフェクトBOOK 2012	食道癌	平野剛, 平井みどり	薬剤部
病気と薬パーフェクトBOOK 2012	胃癌	平野剛, 平井みどり	薬剤部
JAID/JSC感染症治療ガイド2011		山下和彦, 山本和宏, 岡本千明, 西村恵, 大松秀明, 平井みどり	薬剤部
静脈経腸栄養	栄養投与の電解質異常にもたらず効果 神戸大学Nutrition & Electrolyte Support Team (NEST) 症例の解析	生田智子, 濱田康弘, 佐竹久美子, 阪本麻友, 田中健太, 矢野美由紀, 野口まどか, 戸田明代, 平井みどり, 宇佐美眞	薬剤部
医薬品情報学	実務実習生の医薬品情報リテラシー向上を目的とした医薬品情報実習の効果	谷藤亜希子, 田中健太, 平野剛, 岡村昇, 平井みどり	薬剤部
医療薬学	パクリタキセル・カルボプラチン併用療法とワルファリンとの薬物相互作用に関する調査 抗凝固効果への影響	垣尾尚美, 和田敦, 宗亜矢子, 久米学, 角本幹夫, 榎本博雄, 平野剛, 奥川斉, 平井みどり	薬剤部
日本緩和医療薬学雑誌	フェンタニル経皮吸収型製剤による皮膚症状に対するテガダーム®の軽減効果に対する調査	沼田千賀子, 寺岡麗子, 八木敬子, 江本憲昭, 平井みどり, 北河修治	薬剤部
静脈経腸栄養	【NST活動と薬の知識】 栄養療法と保健機能食品	平井みどり	薬剤部
アレルギーの臨床	【抗アレルギー薬の現状と近未来】 抗アレルギー薬の薬物相互作用 薬剤師の視点から	平井みどり	薬剤部

小計 累計

13 38

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Nucl Cardiol	Positron emission tomography scan can be a reassuring tool to treat difficult cases of infective endocarditis	Kenzaka T, Shimoshikiryo M, Kitao A, Kario K, Hashimoto M	総合内科
J Gastroenterol	A randomized controlled trial of rebamipide plus rabeprazole for the healing of artificial ulcers after endoscopic submucosal dissection	Fujiwara S, Morita Y, Toyonaga T, Kawakami F, Itoh T, Yoshida M, Kutsumi H, Azuma T	消化器内科
J Hepatobiliary Pancreat Sci	da Vinci robotic single-incision cholecystectomy and hepatectomy using single-channel GelPort access	Sugimoto M, Tanaka K, Matsuoka Y, Man-i M, Morita Y, Tanaka S, Fujiwara S, Azuma T	消化器内科
消化器内視鏡	【進むべきか引くべきか胃と大腸のSM癌-ESD時代の術前診断と治療戦略】 【大腸SM癌の診断と治療】 SM浸潤の可能性のある大腸癌に対するESDの注意点	豊永高史, 西野栄世, 横崎宏, 田中心和, 尾野亘, 岩田恵典, 高田信康, 塩見英之, 森田圭紀, 藤田剛, 早雲孝信, 東健	消化器内科
胃と腸	【大腸SM癌に対する内視鏡治療の適応拡大】 主題 内視鏡治療手技における注意点 SM浸潤の可能性のある大腸癌に対するESD	豊永高史, 西野栄世, 横崎宏, 尾野亘, 小畑大輔, 田中心和, 石田司, 塩見英之, 森田圭紀, 藤田欣也, 藤田剛, 早雲孝信, 東健	消化器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Orally administered eicosapentaenoic acid induces rapid regression of atherosclerosis via modulating the phenotype of dendritic cells in LDL receptor-deficient mice	Nakajima K, Yamashita T, Kita T, Takeda M, Sasaki N, Kasahara K, Shinohara M, Rikitake Y, Ishida T, Yokoyama M, Hirata K	循環器内科
Circ J	Impact of left ventricular afterload on longitudinal dyssynchrony in patients with severe aortic stenosis and preserved ejection fraction	Yamawaki K, Tanaka H, Matsumoto K, Hiraishi M, Miyoshi T, Kaneko A, Tsuji T, Ryo K, Norisada K, Fukuda Y, Tatsumi K, Onishi T, Okada K, Okita Y, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Am J Cardiol	Mechanical left ventricular dyssynchrony in heart failure patients with narrow QRS duration as assessed by three-dimensional speckle area tracking strain	Tatsumi K, Tanaka H, Matsumoto K, Hiraishi M, Miyoshi T, Tsuji T, Kaneko A, Ryo K, Yamawaki K, Fukuda Y, Norisada K, Onishi T, Kawai H, Hirata K	循環器内科

小計 累計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Heart J Cardiovasc Imaging	Multidirectional left ventricular performance detected with three-dimensional speckle-tracking strain in patients with chronic right ventricular pacing and preserved ejection fraction	Tanaka H, Matsumoto K, Hiraishi M, Miyoshi T, Kaneko A, Tsuji T, Ryo K, Fukuda Y, Tatsumi K, Yoshida A, Kawai H, Hirata KI	循環器内科
Nature	Pathogenic exon-trapping by SVA retrotransposon and rescue in Fukuyama muscular dystrophy	Taniguchi-Ikeda M, Kobayashi K, Kanagawa M, Yu CC, Mori K, Oda T, Kuga A, Kurahashi H, Akman HO, DiMauro S, Kaji R, Yokota T, Takeda S, Toda T	神経内科
m J Nephrol	Carvedilol ameliorates low-turnover bone disease in non-obese type 2 diabetes	Goto S, Fujii H, Kono K, Nakai K, Hamada Y, Yamato H, Shinohara M, Kitazawa R, Kitazawa S, Nishi S, Fukagawa M	腎臓内科
Mod Rheumatol	Role of imaging studies in the diagnosis and evaluation of giant cell arteritis in Japanese: report of eight cases	Morinobu A, Tsuji G, Kasagi S, Saegusa J, Hayashi H, Nakazawa T, Kogata Y, Misaki K, Nishimura K, Sendo S, Miura N, Kawano S, Kumagai S	免疫内科
J Clin Microbiol	Diagnostic accuracy of serum 1,3- β -D-glucan for pneumocystis jiroveci pneumonia, invasive candidiasis, and invasive aspergillosis: systematic review and meta-analysis	Onishi A, Sugiyama D, Kogata Y, Saegusa J, Sugimoto T, Kawano S, Morinobu A, Nishimura K, Kumagai S	免疫内科
Cell Metab	PGRN is a key adipokine mediating high fat diet-induced insulin resistance and obesity through IL-6 in adipose tissue	Matsubara T, Mita A, Minami K, Hosooka T, Kitazawa S, Takahashi K, Tamori Y, Yokoi N, Watanabe M, Matsuo E, Nishimura O, Seino S	糖尿病・内分泌内科
Nat Med	CITED2 links hormonal signaling to PGC-1 α acetylation in the regulation of gluconeogenesis	Sakai M, Matsumoto M, Tujimura T, Yongheng C, Noguchi T, Inagaki K, Inoue H, Hosooka T, Takazawa K, Kido Y, Yasuda K, Hiramatsu R, Matsuki Y, Kasuga M	糖尿病・内分泌内科
Int J Hematol	Successful neutrophil engraftment by reduced use of granulocyte colony-stimulating factor after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with mycophenolate mofetil for graft-versus-host disease prophylaxis	Okamura A, Yakushijin K, Inui Y, Funakoshi Y, Kawamori Y, Shimada T, Toyoda M, Chayahara N, Kiyota N, Fujiwara Y, Mukohara T, Matsuoka H, Yamamoto K, Minami H	腫瘍・血液内科

小計 累計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med	Therapy-related pure erythroid leukemia with hepatic infiltration and hemophagocytic syndrome	Funakoshi Y, Matsuoka H, Yamamoto K, Yakushijin K, Inui Y, Okamura A, Takeuchi M, Yokozaki H, Minami H	腫瘍・血液内科
Leuk Res	Biallelic ETV6 rearrangements by recurrent translocations t(7;12)(p15;p13) and t(3;12)(q26.2;p13) in acute myeloid leukemia	Yamamoto K, Yakushijin K, Funakoshi Y, Inui Y, Okamura A, Matsuoka H, Minami H	腫瘍・血液内科
Eur J Haematol	Expression of the novel NUP98/PSIP1 fusion transcripts in myelodysplastic syndrome with t(9;11)(p22;p15)	Yamamoto K, Nakamachi Y, Yakushijin K, Funakoshi Y, Okamura A, Kawano S, Matsuoka H, Minami H	腫瘍・血液内科
理学療法兵庫	がんのリハビリテーションの実際 - 造血幹細胞移植および食道癌へのアプローチ	井上順一朗, 小野玲, 竹腰久容, 岡村篤夫, 黒田大介, 三浦靖史, 佐浦隆一	腫瘍・血液内科
理学療法ジャーナル	【がん患者のリハビリテーションと理学療法】造血幹細胞移植患者における理学療法介入の意義	井上順一朗, 小野玲, 牧浦大祐, 竹腰久容, 中田登紀江, 石橋有希, 岡村篤夫, 南博信, 三浦靖史, 佐浦隆一	腫瘍・血液内科
Int J Hematol	Use of mycophenolate mofetil in patients received allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in Japan	Iida M, Fukuda T, Ikegame K, Yoshihara S, Ogawa H, Taniguchi S, Takami A, Abe Y, Hino M, Etou T, Ueda Y, Yujiri T, Matsui T, Okamura A, Tanaka J, Atsuta Y, Kodera Y, Suzuki R	血液内科
Pediatr Nephrol	Treatment strategies for Henoch-Schönlein purpura nephritis by histological and clinical severity	Ninchoji T, Kaito H, Nozu K, Hashimura Y, Kanda K, Kamioka I, Shima Y, Hamahira K, Nakanishi K, Tanaka R, Yoshikawa N, Iijima K, Matsuo M	小児科
Genet Test Mol Biomarkers	A G-to-T transversion at the splice acceptor site of dystrophin exon 14 shows multiple splicing outcomes that are not exemplified by transition mutations	Ota M, Takeshima Y, Nishida A, Awano H, Lee T, Yagi M, Matsuo M	小児科

小計 累計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Dev	Valproic acid increases SMN2 expression and modulates SF2/ASF and hnRNP A1 expression in SMA fibroblast cell lines	Harahap IS, Saito T, San LP, Sasaki N, Gunadi, Nurputra DK, Yusoff S, Yamamoto T, Morikawa S, Nishimura N, Lee MJ, Takeshima Y, Matsuo M, Nishio H	小児科
Oncol Rep	Rab15 expression correlates with retinoic acid-induced differentiation of neuroblastoma cells	Nishimura N, Van Huyen Pham T, Hartomo TB, Lee MJ, Hasegawa D, Takeda H, Kawasaki K, Kosaka Y, Yamamoto T, Morikawa S, Yamamoto N, Kubokawa I, Mori T, Yanai T, Hayakawa A, Takeshima Y, Nishio H, Matsuo M	小児科
Genet Test Mol Biomarkers	Diagnosis of spinal muscular atrophy via high-resolution melting analysis symmetric polymerase chain reaction without probe: a screening evaluation for SMN1 deletions and intragenic mutations	Morikawa S, Harahap IS, Kaszynski RH, Yamamoto T, Pramudya DK, Pham HT, Hartomo TB, Lee MJ, Morioka I, Nishimura N, Yokoyama N, Ueno Y, Matsuo M, Nishio H	小児科
Genet Test Mol Biomarkers	Spinal muscular atrophy patient detection and carrier screening using dried blood spots on filter paper	Harahap NI, Harahap IS, Kaszynski RH, Nurputra DK, Hartomo TB, Pham HT, Yamamoto T, Morikawa S, Nishimura N, Rusdi I, Widiastuti R, Nishio H	小児科
Kobe J Med Sci	A homozygous mutation in UGT1A1 exon 5 may be responsible for persistent hyperbilirubinemia in a Japanese girl with Gilbert's syndrome	Nakagawa T, Mure T, Yusoff S, Ono E, Kusuma Harahap IS, Morikawa S, Morioka I, Takeshima Y, Nishio H, Matsuo M	小児科
Mol Genet Metab	Two closely spaced nonsense mutations in the DMD gene in a Malaysian family	Rani AQ, Malueka RG, Sasongko TH, Awano H, Lee T, Yagi M, Zilfalil BA, Salmi AB, Takeshima Y, Zabidi-Hussin ZA, Matsuo M	小児科
Pediatr Int	Rituximab for childhood refractory nephrotic syndrome	Iijima K	小児科
NAT COMMUN	Chemical treatment enhances skipping of a mutated exon in the dystrophin gene	Nishida A, Kataoka N, Takeshima Y, Yagi M, Awano H, Ota M, Itoh K, Hagiwara M, Matsuo M	小児科

小計 累計

8 70

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nucleic Acid Ther	Antisense oligonucleotide induced dystrophin exon 45 skipping at a low half-maximal effective concentration in a cell-free splicing system	Malueka RG, Yagi M, Awano H, Lee T, Dwianingsih EK, Nishida A, Takeshima Y, Matsuo M	小児科
Mol Genet Metab	A patient with mitochondrial trifunctional protein deficiency due to the mutations in the HADHB gene showed recurrent myalgia since early childhood and was diagnosed in adolescence	Yagi M, Lee T, Awano H, Tsuji M, Tajima G, Kobayashi H, Hasegawa Y, Yamaguchi S, Takeshima Y, Matsuo M	小児科
EBM腎臓病の治療 2011-2012	微小変化型ネフローゼ症候群（小児）のステロイド療法、免疫抑制療法はどのように行うのでしょうか？	飯島一誠	小児科
日本小児腎不全学会雑誌	小児腎移植におけるバルガンシクロピルの使用経験	竹田雅, 石村武志, 三宅秀明, 田中一志, 藤澤正人, 石森真吾, 橋村裕也, 貝藤裕史, 飯島一誠	小児科
日本小児科学会雑誌	タンデムマス・スクリーニングで軽症プロピオン酸血症を疑われたミトコンドリア脳症	起塚庸, 竹島泰弘, 西山敦史, 栗野宏之, 但馬剛, 佐倉伸夫, 依藤亨, 重松陽介, 八木麻理子, 松尾雅文	小児科
小児科	小児医学最近の進歩 脊髄性筋萎縮症とSMN蛋白と低分子量リボ核蛋白合成	西尾久英, 斉藤利雄, 森川悟, 山本友人, 寶田徹, 竹内敦子, 西村範行, 竹島泰弘, 松尾雅文	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌	小児腎移植におけるミコフェノール酸モフェチルの多施設共同オープンラベル臨床試験 有効性・安全性、薬物動態の評価	飯島一誠, 佐古まゆみ, 木村利美, 服部元史, 亀井宏一, 野津寛大, 穴戸清一郎, 相川厚, 森田研, 後藤芳充, 和田尚弘, 大塚泰史, 長田道夫, 斉藤真梨, 本田雅敬, 土田尚, 中村秀文	小児科
医学のあゆみ	【腎炎・ネフローゼの免疫抑制療法-さらなる有効性と安全性を求めて】 小児ネフローゼ症候群におけるあらたな治療戦略	飯島一誠	小児科
日本小児腎不全学会雑誌	CAKUTに対する治療戦略 CAKUTと遺伝子変異	飯島一誠	小児科

小計 累計

9 79

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annual Review腎臓	Clinical nephrology 水電解質異常 遺伝性塩類喪失性尿細管機能異常症 (Salt-losing tubulopathy) の分子病態 Bartter症候群, Gitelman症候群における統一疾患名の提唱	野津寛大, 貝藤裕史, 飯島一誠, 五十嵐隆	小児科
日本小児腎不全学会雑誌	学校検尿により発見されたフィブ्रोネクチン関連腎症の1例	佐藤泰征, 佐々木聡, 岡本孝之, 伊東広臨, 楠幸博, 鈴木昭, 深澤雄一郎, 大坪裕美, 橋村裕也, 貝藤裕史, 飯島一誠, 有賀正	小児科
Eur J Radiol	Quantitative bronchial luminal volumetric assessment of pulmonary function loss by thin-section MDCT in pulmonary emphysema patients	Koyama H, Ohno Y, Yamazaki Y, Onishi Y, Takenaka D, Yoshikawa T, Nishio M, Matsumoto S, Murase K, Nishimura Y, Sugimura K	放射線科
Magn Reson Imaging	A case of Budd-Chiari syndrome: Gd-EOB-DTPA-enhanced MR findings	Kitajima K, Yoshikawa T, Seo Y, Ohno Y, Yano Y, Miki A, Kanda T, Kanata N, Azuma T, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	CT hepatic perfusion measurement: Comparison of three analytic methods	Kanda T, Yoshikawa T, Ohno Y, Kanata N, Koyama H, Takenaka D, Sugimura K	放射線科
AJR Am J Roentgenol	T2* measurements of 3-T MRI with ultrashort TEs: capabilities of pulmonary function assessment and clinical stage classification in smokers	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto K, Takahashi M, Van Cauteren M, Sugimura K	放射線科
AJR Am J Roentgenol	Diffusion-weighted MRI versus 18F-FDG PET/CT: performance as predictors of tumor treatment response and patient survival in patients with non-small cell lung cancer receiving chemoradiotherapy	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto K, Aoyama N, Onishi Y, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	Perfusion measurement of the whole upper abdomen of patients with and without liver diseases: Initial experience with 320-detector row CT	Kanda T, Yoshikawa T, Ohno Y, Fujisawa Y, Kanata N, Yamaguchi M, Seo Y, Yano Y, Koyama H, Kitajima K, Takenaka D, Sugimura K	放射線科

小計 累計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Imaging	Pulmonary magnetic resonance imaging for airway diseases	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Nishio M, Matsumoto S, Iwasawa T, Sugimura K	放射線科
J Vasc Surg	Endovascular creation of aortic dissection in a swine model with technical considerations	Okuno T, Yamaguchi M, Okada T, Takahashi T, Sakamoto N, Ueshima E, Sugimura K, Sugimoto K	放射線科
関節外科	T2マッピングによる関節軟骨の変性の評価 病理組織所見との対比	岩間祐基, 久保晴司, 藤井正彦, 後藤一, 黒田良祐, 黒坂昌弘, 杉村和朗	放射線科
Arch Gynecol Obstet	Radiotherapy for Japanese elderly patients with cervical cancer: preliminary survival outcomes and evaluation of treatment-related toxicity	Yoshida K, Sasaki R, Nishimura H, Miyawaki D, Kawabe T, Okamoto Y, Nakabayashi K, Yoshida S, Sugimura K	放射線腫瘍科
Int J Hematol	Histiocytic sarcoma with two immunohistopathologically distinct populations	Wakahashi K, Shimoyama M, Katayama Y, Minagawa K, Yoshida K, Sasaki R, Nakayama S, Yokozaki H, Yanagita E, Itoh T, Hayashi Y, Matsui T	放射線腫瘍科
J Radiat Res	Radiation therapy in patients with implanted cardiac pacemakers and implantable cardioverter defibrillators: a prospective survey in Japan	Soejima T, Yoden E, Nishimura Y, Ono S, Yoshida A, Fukuda H, Fukuhara N, Sasaki R, Tsujino K, Norihisa Y	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Long-term outcome and patterns of failure in primary ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma treated with radiotherapy	Hashimoto N, Sasaki R, Nishimura H, Yoshida K, Miyawaki D, Nakayama M, Uehara K, Okamoto Y, Ejima Y, Azumi A, Matsui T, Sugimura K	放射線腫瘍科
J Gastroenterol	The effectiveness of particle radiotherapy for hepatocellular carcinoma associated with inferior vena cava tumor thrombus	Komatsu S, Fukumoto T, Demizu Y, Miyawaki D, Terashima K, Niwa Y, Mima M, Fujii O, Sasaki R, Yamada I, Hori Y, Hishikawa Y, Abe M, Ku Y, Murakami M	放射線腫瘍科

小計 累計

8 95

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer	Clinical results and risk factors of proton and carbon ion therapy for hepatocellular carcinoma	Komatsu S, Fukumoto T, Demizu Y, Miyawaki D, Terashima K, Sasaki R, Hori Y, Hishikawa Y, Ku Y, Murakami M	放射線腫瘍科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Multi-institutional Analysis of Solitary Extramedullary Plasmacytoma of the Head and Neck Treated with Curative Radiotherapy	R Sasaki (Corresponding author), K Yasuda, E Abe, N Uchida, M Kawashima, T Uno, M Fujiwara, Y Shioyama, Y Kagami, Y Shibamoto, K Nakata, Y Takada, T Kawabe, K Uehara, K Nibu, S Yamada	放射線腫瘍科
J Dermatol	Molecular mapping of lymph node metastases by real-time reverse-transcription polymerase chain reaction in two melanoma patients	Abe-Mukumoto S, Mori T, Hino R, Sakabe JI, Fukamachi S, Bito T, Nakamura M, Kabashima K, Tokura Y	皮膚科
Br J Dermatol	Bathing suit ichthyosis with summer exacerbation: a temperature-sensitive case	Yamamoto M, Sakaguchi Y, Itoh M, Nakagawa N, Fukunaga A, Hitomi K, Yamanishi K	皮膚科
Eur J Dermatol	Successful treatment with fluoropyrimidine TS-1 of human papillomavirus type 16-detected multiple oral bowenoid papulosis in an elderly woman	Nakano E, Kunisada M, Ikeda T, Kikusawa A, Hirose M, Shibuya Y, Komori T, Nishigori C	皮膚科
Br J Cancer	In vitro and in vivo inhibitory effect of three Cox-2 inhibitors and epithelial-to-mesenchymal transition in human bladder cancer cell lines	Adhim Z, Matsuoka T, Bito T, Shigemura K, Lee KM, Kawabata M, Fujisawa M, Nibu K, Shirakawa T	皮膚科
J Dermatol	Connexin 26 (GJB2) mutations in keratitis-ichthyosis-deafness syndrome presenting with squamous cell carcinoma	Sakabe JI, Yoshiki R, Sugita K, Haruyama S, Sawada Y, Kabashima R, Bito T, Nakamura M, Tokura Y	皮膚科
Kobe J Med Sci	Polymorphisms of glutathione S-transferase in skin cancers in a Japanese population	Chiyomaru K, Nagano T, Nishigori C	皮膚科

小計 累計

8 103

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Dermatol	Successful and long-lasting treatment of solar urticaria with UVA rush hardening therapy	Masuoka E, Fukunaga A, Kishigami K, Jimbo H, Nishioka M, Uchimura Y, Taguchi K, Ohgou N, Nishigori C	皮膚科
Arch Dermatol	Double-headed nodules on the abdomen. Myxoid dermatofibrosarcoma protuberans (DFSP)	Kunisada M, Nagai H, Shimizu H, Yogiarti F, Nishiyama S, Nishigori C	皮膚科
皮膚科診療カラーアトラス	色素性乾皮症	錦織千佳子	皮膚科
Visual Dermatology	【光線過敏症 最新の研究から遮光対策まで】 (Part2) 光線過敏症の今 色素性乾皮症と紫外線発癌	錦織千佳子	皮膚科
Visual Dermatology	【光線過敏症 最新の研究から遮光対策まで】 (Part3) 光線過敏症カンファレンス スプライス異常の複合ヘテロ接合型変異による色素性乾皮症バリエーション型の1例	小野竜輔, 正木太郎, 竹内聖二, 上出良一, 錦織千佳子	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌	光線過敏症、スポーツ皮膚障害 色素性乾皮症 遺伝子診断における最近の動向	小野竜輔, 中野英司, 竹内聖二, 錦織千佳子	皮膚科
西日本皮膚科	6歳まで診断されなかった色素性乾皮症A群の1例	幸田太, 野崎誠, 佐々木りか子, 畑三恵子, 錦織千佳子	皮膚科
Hepatol Res	Morphometric analysis of conformational changes in hepatic venous system after right lobe living donor liver transplantation	Takahashi M, Fukumoto T, Kido M, Tsuchida S, Takebe A, Kuramitsu K, Komatsu S, Yamada I, Hori Y, Ku Y	肝胆膵外科
Br J Surg	Risk factors for survival and local recurrence after particle radiotherapy for single small hepatocellular carcinoma	Komatsu S, Murakami M, Fukumoto T, Hori Y, Hishikawa Y, Ku Y	肝胆膵外科
Ann Thorac Surg	Aortic regurgitation after valve-sparing aortic root replacement: modes of failure	Oka T, Okita Y, Matsumori M, Okada K, Minami H, Munakata H, Inoue T, Tanaka A, Sakamoto T, Omura A, Nomura T	心臓血管外科
J Clin Microbiol	Prospective study of congenital toxoplasmosis screening with use of IgG avidity and multiplex nested PCR methods	Yamada H, Nishikawa A, Yamamoto T, Mizue Y, Yamada T, Morizane M, Tairaku S, Nishihira J	産科婦人科

小計 累計

11 114

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産婦人科治療102巻増刊	不育症治療法としての免疫グロブリン療法、不妊診療のすべて	山田秀人, 前澤陽子, 武田真光, 島田茂樹, 蝦名康彦	産科婦人科
周産期医学41巻増刊号	トキソプラズマ	平久進也, 山田秀人	産科婦人科
産婦人科治療	先天性サイトメガロウイルス感染症の胎児・新生児治療	山田秀人, 森岡一朗, 森實真由美, 園山綾子, 谷村憲司, 松尾希世美, 松尾雅文, 峰松俊夫, 古谷野伸, 井上直樹	産科婦人科
兵庫県母性衛生学会雑誌	サイトメガロウイルス感染における妊婦および新生児スクリーニングの成果	園山綾子, 谷村憲司, 平久進也, 蝦名康彦, 森岡一朗, 大橋正伸, 船越徹, 古谷野伸, 井上直樹, 峰松俊夫, 山田秀人	産科婦人科
産婦人科の実際	【産婦人科の遺伝医療と遺伝カウンセリング】 周産期感染におけるカウンセリング トキソプラズマとサイトメガロウイルス	山田秀人, 谷村憲司, 森岡一朗, 森實真由美, 園山綾子, 平久進也, 蝦名康彦, 井上直樹, 古谷野伸, 峰松俊夫	産科婦人科
臨床細胞分子遺伝	出生前診断を行った21水酸化酵素欠損症の1例	中島由貴, 森岡一朗, 八木麻理子, 柴田暁男, 山崎峰夫, 山田秀人, 郷司克己, 竹島泰弘, 松尾雅文	産科婦人科
臨床細胞分子遺伝	先天性サイトメガロウイルス感染	山田秀人, 森岡一朗, 森實真由美, 園山綾子, 谷村憲司	産科婦人科
産婦人科の実際	【不育症 最前線】 不育症に対する免疫グロブリン療法	山田秀人, 前澤陽子, 武田真光, 谷村憲司, 陌間亮一, 蝦名康彦	産科婦人科
産婦人科治療	【不妊診療のすべて】 不育症 不育症治療法としての免疫グロブリン療法	山田秀人, 前澤陽子, 武田真光, 島田茂樹, 蝦名康彦	産科婦人科

小計 累計

9 123

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
腎泌尿器一症例から学ぶ術者のための実践手術手技 (腹腔鏡手術スキルアップ・シリーズ)		藤澤正人 監修, 川端岳, 武中篤, 田中一志編	泌尿器科
内分泌外科	【世界に発信する内分泌外科の臨床と基礎研究】 アシスタント用3Dモニターシステムを用いたロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術	田中一志, 山口耕平, 古川順也, 村蒔基次, 石村武志, 原口貴裕, 中野雄造, 三宅秀明, 藤澤正人	泌尿器科
INR Am J Neuroradiol	Clinical application of arterial spin-labeling MR imaging in patients with carotid stenosis: quantitative comparative study with single-photon emission CT	Uchihashi Y, Hosoda K, Zimine I, Fujita A, Fujii M, Sugimura K, Kohmura E	脳神経外科
J Synchrotron Radiat	A narrow microbeam is more effective for tumor growth suppression than a wide microbeam: an in vivo study using implanted human glioma cells	Uyama A, Kondoh T, Nariyama N, Umetani K, Fukumoto M, Shinohara K, Kohmura E	脳神経外科
Clinical Neuroscience	【聴覚-分子機構から先端治療まで】 聴覚路の病態と治療 聴神経腫瘍に対する聴覚温存手術	甲村英二	脳神経外科
Ups J Med Sci	Therapeutic strategy of third-generation autologous chondrocyte implantation for osteoarthritis	Kuroda T, Matsumoto T, Mifune Y, Fukui T, Kubo S, Matsushita T, Asahara T, Kurosaka M, Kuroda R	整形外科
PLoS One	A novel system for transcutaneous application of carbon dioxide causing an 'artificial Bohr effect' in the human body	Sakai Y, Miwa M, Oe K, Ueha T, Koh A, Niikura T, Iwakura T, Lee SY, Tanaka M, Kurosaka M	整形外科
再生医療シリーズ 血管再生治療-現状から未来を展望する-	第6章 血管再生治療研究-各論 (4) 末梢血CD34陽性細胞による骨・血管再生療法	松本知之, 黒田良祐	整形外科
日本ペインクリニック学会誌	腰部脊柱管狭窄症の病態と、脊椎外科医が考える治療について	西田康太郎	整形外科

小計 累計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Chemother Pharmacol	Weekly paclitaxel in patients with recurrent or metastatic head and neck cancer	Tahara M, Minami H, Hasegawa Y, Tomita K, Watanabe A, Nibu K, Fujii M, Onozawa Y, Kurono Y, Sagae D, Seriu T, Tsukuda M	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Curr Eye Res	Filtering bleb structure associated with long-term intraocular pressure control after amniotic membrane-assisted trabeculectomy	Nakamura M, Naka M, Tatsumi Y, Nagai-Kusuhara A, Kanamori A, Yamada Y, Negi A	眼科
あたらしい眼科	緑内障セミナー 羊膜移植併用緑内障手術	山田裕子	眼科
Implant Dent	Maxillary Sinus Floor Elevation Combined With a Vertical Onlay Graft	Shibuya Y, Takeuchi Y, Asai T, Takeuchi J, Suzuki H, Komori T	歯科口腔外科
歯科衛生士のための口腔外科学	インプラントに関する処置	渋谷恭之	歯科口腔外科
歯科衛生士のための口腔外科学	骨延長術	渋谷恭之	歯科口腔外科
歯科衛生士のための口腔外科学	上顎洞底挙上術(サイナスリフト)	渋谷恭之	歯科口腔外科
歯界月報	当科におけるインプラントの臨床的検討	渋谷恭之, 古森孝英	歯科口腔外科
Kobe J Med Sci	Cellular fatty acid composition of stratified squamous epithelia after transplantation of ex vivo produced oral mucosa equivalent	Moriyama K, Yokoo S, Terashi H, Komori T	形成外科
J Wound Care	Optimum microcurrent stimulation intensity for galvanotaxis in human fibroblasts	Sugimoto M, Maeshige N, Honda H, Yoshikawa Y, Uemura M, Yamamoto M, Terashi H	形成外科
Kobe J Med Sci	Effect of ultrasound irradiation on α -SMA and TGF- β 1 expression in human dermal fibroblasts	Maeshige N, Terashi H, Aoyama M, Torii K, Sugimoto M, Usami M	形成外科

小計 累計

11 143

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本頭蓋顎顔面外科学会誌	蛍光X線分析法による微量元素解析 上眼瞼インプラントの解析より	榊原俊介, 橋川和信, 杉本庸, 梶田智, 田原真也	形成外科
形成外科	私の手術と合併症回避のコツ(第59回) 四肢リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術	橋川和信	形成外科
PEPARS	【悪性腫瘍切除後の頭頸部再建のコツ】 下顎骨切除後の再建 CAT分類とCATコンセプト	橋川和信	形成外科

小計 計
3 146

(注) 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 杉村和朗
管理担当者氏名	薬剤部長 平井みどり 総務課長 深澤博昭 管理課長 福山麻梨子 研究支援課長 寺田明 医事課長 石坂雅志

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療録センター (エックス線写真 →各診療科、処方せん→薬剤部、病院日誌→総務課)	病歴資料については診療録センターで集中管理を行い、エックス線写真、処方せん、病院日誌は当該担当部署において、保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
項規第一号に掲げる体制の確保の状況及び第九条の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記録 に関する	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体制 の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	医事課
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	医事課 薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	医事課 薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	医事課 薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の取 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	医事課 薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	管理課
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	管理課
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	管理課
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	管理課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 杉村 和朗
閲覧担当者氏名	薬剤部長 平井 みどり 総務課長 深澤 博昭 管理課長 福山 麻梨子 研究支援課長 寺田 明 医事課長 石坂 雅志
閲覧の求めに応じる場所	応接室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.9 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,440人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	18,720人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,238人	
	D: 初診の患者の数	26,842人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

①	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	指針の主な内容： 別紙のとおり	
②	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
	活動の主な内容： 別紙のとおり	
③	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 26 回
	研修の主な内容： 別紙のとおり	
④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
	医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="radio"/> (有) ・ 無)	
	その他の改善のための方策の主な内容： 別紙のとおり	
⑤	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (4 名) ・ 無
⑥	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (7 名) ・ 無
⑦	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
	所属職員： 専任(4)名 兼任(16)名 活動の主な内容： (1) インシデント審議依頼やヒヤリ・ハット事例に関する情報の収集 (2) 収集された情報とその分析に基づき、病院内で具体的な対策の企画、実施 (3) 医療現場への的確な情報の提供 (4) 医療安全管理マニュアルの作成 (5) 医療事故防止の教育・学習の展開等の任務を行う (6) 医療相談の報告に基づく指導	
⑧	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容:</p> <p>院内感染対策に関する基本的考え方、院内感染対策のための委員会・組織、院内感染対策のための職員等に対する研修に関する基本方針、院内感染発生時の対応(報告体制含む)に関する基本方針、患者・家族等に対する指導およびインフォームドコンセントと当該指針の閲覧に関する基本方針、その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針(サーベイランス・院内ラウンド、コンサルテーション・職業感染対策・マニュアルの編集・院内環境の整備・地域連携)。</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	院内感染対策委員会…年12回(月1回実施) 感染制御部会…年12回(月1回実施)
<p>活動の主な内容:</p> <p>MRSA及び耐性菌の検出報告、アウトブレイク疑い対応、院内ラウンド、医療関連サーベイランス、リンクナース会および感染制御部連絡会議開催、職業感染予防対策(結核曝露対策、ワクチン接種、針刺し・切創予防など)、院内感染予防マニュアルの改訂、院内研修(必修講習会、ICP講習会など)の計画・実施。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 48 回
<p>研修の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規採用者全員対象に、院内感染防止対策の基本と針刺し予防の講義およびデモンストレーション。 全職種に対して、職員必修講習会として年2回(職員全体で同じ内容を計14回実施)、医療安全部門と共に時期に応じて院内感染対策上重要なポイントおよびトピックスや事例について講演。 職種別(医師、看護師、診療技術部門、委託業者等)対象に、各々年2~14回、各職種に応じた現場で遵守すべき感染対策の知識や技術について講義やトレーニング。 多剤耐性菌のアウトブレイクや新興感染症発生時など、海外や国内で新たな問題が生じた際の緊急職員集会。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症法に決められている届け出が必要な感染症の報告体制および、感染対策上重要な感染症に対する感染制御部・救急部による監視体制のマニュアル化。 <p>その他の改善のための方策の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期(週1回)抗菌薬の使用状況と感染対策実施状況を確認(ラウンド)し、必要時指導。 抗菌薬使用状況調査し毎週開催の抗菌薬適正使用プロジェクトで抗菌薬の使用法を検討し、随時介入指導。 随時、現場医療従事者からのコンサルテーションをうけて、即応。 侵襲処置・医療器具関連感染、針刺し・切創のサーベイランスを実施。 血流感染、手術創感染、血液・体液等のサーベイランスを実施。 職員のワクチン接種プログラム(B型肝炎、麻疹、風疹、水痘、ムンプス)を計画・実施。 医学科学生(BSL前)及び保健学科学生の実習前に、感染防止対策の講義および手指衛生や個人防護用具の演習を実施。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 麻薬とインスリン 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (① 有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤、服薬指導、安全使用に関する内容、ハイリスク薬に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (① 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事例は、医療の質・安全管理部ミーティング、医薬品安全管理委員会にて報告や改善策の検討を行っている。 ● 必要な情報は、外来、病棟等の各部署に紙媒体で配布すると共に、病院情報システムへの掲載や院内各種会議での報告を行っている。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 29 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 人工呼吸器、輸液・シリンジポンプ、除細動器、補助循環、血液浄化装置についての操作方法及び、管理上の注意点とトラブルシューティングについて。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 院内の臨床工学技士による、定期点検（定期消耗品交換含む）と、製造販売メーカー実施における点検報告書の管理。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器に関する安全情報の提供と不具合報告の連絡体制の整備。 医療情報端末（電子カルテ）を用いての安全情報の共有 	

① 指針の主な内容：

(1) 医療機関における安全管理に関する基本的考え方

大学病院は一方では高度の医療を提供する使命を持ち、また、医療経済の上からも効率的な運用が求められているが、それにもまして患者の安全を第一に、一貫して患者の視点に立つ医療を心がける。また、事故を誘発しない環境や、未然に防ぐことのできるシステムを組織全体として構築することが必要である。そのための取り組みとして、①医療安全管理マニュアルの作成②教育・学習活動の展開③医療事故、ヒヤリ・ハット報告システムの確立④常設委員会の設置を位置づけている。

(2) 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項
病院全体のレベルと各部門レベルのそれぞれで体制を確立するとともに、両者の連絡を図り、病院としての一元的な体制を整備することが重要である。本院では、中枢機関として「医療安全管理委員会」および「患者安全部門会議」が設置されている。また、各部署に「質・安全マネジャー」が任命・配置されている。

(3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針

以下のような講習を毎年行う。①医療安全管理に関する職員必修講習会（年2回以上）②研修医、看護師、技官に対する採用時研修③医学部学生に対する医療安全管理に関する卒前教育④その他、医療安全に関連する講習会（輸血、感染対策等適宜）

(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針

医療事故が起こった場合、直ちにセーフティマネジャーに連絡し、さらに24時間以内に必ずインシデント審議依頼書を提出する。

ヒヤリ・ハット報告に関しては、平成13年2月からオンライン入力システムが整備されデータベース化された。このデータベースを活用することによりヒヤリ・ハット内容の収集・分析を行い、事故に進展するのを未然に防ぐ方策を作成し、そのための訓練の実施や医療システムの見直しに役立てている。さらに平成22年7月から新たなヒヤリ・ハット報告システムを導入したことにより、情報を共有化、データを多角的に統計分析できるようになり、再発防止の方策が的確に立てられるようになった。

(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

事故発生時の対応は、①直ちに医師、看護師等の連携の下に救急処置や医療上の最善の処置をとる。②医療事故が起こった場合、直ちにセーフティマネジャーに連絡し、さらに24時間以内に必ずインシデント審議依頼書を提出する。③患者に対して誠心誠意治療に専念するとともに、患者及び家族に対しては、誠意をもって事故等の説明を行う。④患者の状況、処置の方法・患者及び家族への説明内容を、診療録、看護記録等に詳細に記載する。本院に過失があると判断した場合（可能性も含む）は、速やかに医療事故調査委員会を設置し、事故原因を調査究明し、再発

防止に万全の処置を講じる。

(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

原則的に患者さん、あるいは外部からの閲覧の求めに応じる方針である。また、院内患者情報コーナーにもマニュアルを置き、閲覧できるようにする。

(7) その他医療安全の推進のために必要な基本方針

ダブルチェックの励行を行う。

(8) 内規

- ・ 神戸大学医学部附属病院における医療に係る安全管理要項
- ・ 神戸大学医学部附属病院医療安全管理委員会内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院医療の質・安全管理部内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院質・安全マネジャー連絡会議内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院緊急問題検討会議内規
- ・ 患者相談窓口取扱要領

② 活動の主な内容：

- (1) 医療安全管理委員会の資料の作成、議事要旨の作成及び保存を行っている。
- (2) インシデントの発生時、医療事故かヒヤリ・ハットに該当するかを分析し、事故等であれば、緊急問題検討会議を開催する。緊急問題検討委員会で、事故当事者より診療録に基づき報告を行うよう指導し、併せて診療録、看護記録の確認も行っている。
- (3) インシデント審議依頼書に、患者・家族への対応状況について記入する欄を設けている。記入漏れや詳細内容については、医療の質・安全管理部で確認・指導を行っている。
- (4) 緊急問題検討会議で、病院長を始め事務部長や看護部長等より事故当事者・直属の上司へ原因究明の調査を行っている。また、是正処置実施計画書・報告書により事故防止策の提出を発生部署へ依頼している。議事要旨を医療安全管理委員会で報告している。
- (5) 各部署に質・安全マネジャーが任命・配置されている。必要に応じ質・安全マネジャー連絡会議を開催し、各質・安全マネジャーに事例等を報告している。新任の質・安全マネジャーには、研修を行っている。
また、毎月刊行の附属病院広報誌に、リスクマネジメントニュースを掲載し医療安全に関する情報を公開している。
- (6) 医療安全管理マニュアルを作成し、全部署に配付し、医療事故の防止を図っている。また、職員全員に医療スタッフポケットマニュアルを配付し説明を行っている。さらに、医療情報端末から医療安全管理マニュアルがダウンロードできる。また、年2回医療事故特別防止月間を設け実施している。内容は、事故防止のポスターの掲示、医療事故防止のための職員必修講習の開催、医療の質・安全管理部から各質・安全マネジャーへ点検項目を依頼し実施している。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・平成23年7～8月医療の質・安全管理部、感染制御部が合同で医療安全に関する職員必修講習Ⅰ（前期）を7回開催、出席率の向上に努めた。9, 10, 11月に欠席者、中途採用者を対象に追加講習を実施した。
- ・平成24年1～2月に、医療安全に関する職員必修講習Ⅱ（後期）を7回開催。2月に欠席者、中途採用者を対象に追加講習を実施した。
- ・Basic Life Support と自動体外式除細動器の講習会の実施
平成16年6月より Basic Life Support と自動体外式除細動器の講習会を実施し、本年も継続し行っている。看護師、医師その他医療従事者対し人工呼吸、胸骨圧迫、除細動の実習を月1回開催している。なお、平成18年8月よりガイドライン2005に対応した講習内容に改めた。
- ・新規採用職員合同研修を4月当初に開催し、医療安全に関する講習を行っている。

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備

イ. ①の(4)の回答と同じ

・その他の改善のための方策の主な内容

イ. 医療スタッフポケットマニュアルの配付

平成15年11月より医療安全管理及び感染予防等のエッセンスを掲載した医療スタッフポケットマニュアルを医療従事者全員に配付した。

ロ. 薬剤情報検索システム

平成17年6月より薬剤情報検索システムの運用を開始した。それにより、処方オーダー時に投与量や効用などの情報が検索できるようになった。

ハ. 持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステム

平成17年8月より持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステムを立ち上げた。

ニ. インスリン指示票の統一

平成16年12月よりインスリン指示票を配付し、指示の統一化を図った。

ホ. 是正処置実施計画書・報告書の作成

平成17年4月よりレベル3b以上のインシデントや、ヒヤリ・ハットのうち重大性の非常にあるものなど、ヒヤリ・ハットの検討会で是正計画を作成した方がよいと判断された事例について、部署に是正処置実施計画書・報告書の作成を依頼し、検証することとした。

ヘ. 院内巡回の定期化

平成17年度より、病棟・外来・中央診療部門等の全ての部署に対し、テーマを決めて毎月2～3部署ずつ巡回を行い、結果を診療科長等会議で報告している。また、上記「是正処置実施計画書・報告書」の報告のあった部署については、巡回時効果の確認を行っている。

ト. 医薬品及び医療機器安全管理委員会を整備

平成20年度、医薬品安全管理委員会と医療機器安全管理委員会を立ち上げ、安全情報を収集すると共に、副作用、不具合の収集、分析を行うこととした。

チ. 医療安全組織の改組

平成21年4月、医療安全管理室を改組して、医療の質・安全管理部とした。専任1名を増員し、臨床倫理、臨床指標の分析の支援を行える体制を整えた。